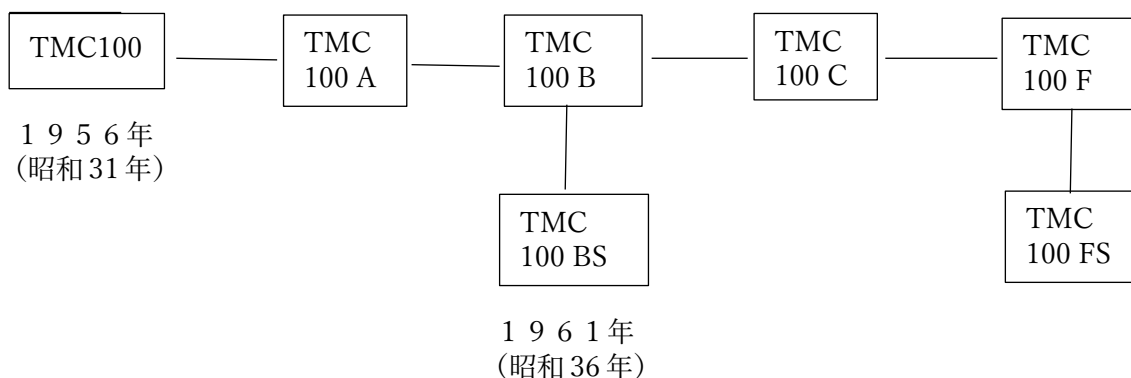


TMC100BS型 軌道モーターカーについて

主に鉄道の保守作業に使用される小型の自走する動力付きの鉄道車両の一種である。TMC100は、試作車2両が1956年（昭和31年）に製造され、続いてTMC100A型の量産がおこなわれた。改良による仕様変更によりTMC100A,B,C,Fの細区分が存在する。

軌道モーターカーに排雪用のラッセル装置を取り付けたものが、軌道モーターカーラッセルといい、形式は元の形式にSを付けたものである。



TMC100BSは、1961（昭和36）年に富士重工業宇都宮製作所で造られた排雪モーターカーで、ラッセル式の除雪装置を備えている。

国鉄福知山機関区に配属され、1978（昭和53）年に加悦（かや）鉄道に譲渡された。加悦鉄道廃線まで保線作業、除雪作業に活躍したほか、廃線後は加悦SLの広場の車輛入換等に使用された。

加悦SLの広場が2020年に閉園に伴い、若桜線SL遺産保存会に譲渡された。